

市報

やまぐち

<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>
koho@city.yamaguchi.lg.jp



おめでとう! 山口国体

あと 365 日

おめでとう! 山口大会

あと 386 日



「新市発足5年」
やまぐち方式の新しいまちづくり P.2

新市と一緒に大きくなりました
「湯田保育所の園児たち」

2010 **10.1**
October
No.120

— 新市発足5年 —

やまぐち方式の新しいまちづくり

平成17年10月1日の新山口市発足後、平成22年1月16日に旧阿東町と合併し、人口約19万8千人（9月1日時点、県内第2位）、面積約1023km²（県内第1位）と、ますます存在感を高める山口市。今回は、市長インタビューを通じて、これまでの取り組みや今後のまちづくりの方向性をお伝えします。

■問い合わせ 市企画経営課（☎083・934・2747）



合併を振り返って

津山 新山口市が発足して、早いもので5年になりました。どのような5年間でしたか。

市長 色々な出来事がありましたので、長いようで短いような、一言では言い表せない気持ちです。それぞれの旧市町には固有の歴史や文化があり、それぞれで定めていた基準や制度があって、人々の暮らしがありましたので、それらを融合し、まとめていくのは大変な作業でしたが、市民の皆様にご理解とご協力をいただき、ここまで来ることができました。この1月には阿東地域も加わって、ひとつの市としてのまとまりも生まれています。市民の皆様には心より感謝申し上げます。

津山 忘れられない一番の出来事は何でしょう。

市長 やはり昨年7月の豪雨災害は大きな出来事です。長期間にわたる断水や避難所生活など、市民の皆様には自由な生活を余儀なくさせてしまいました。冷静に対応いただき、また復旧活動には行政と一緒に汗を流していただきました。被災者の方々には逆に励ましの声をいただくなど、本当にありがたかったですし、そんな市民性を誇りに思っています。

津山 新市を形づくるにあたり、特に力を注いだのはどこだったところですか。

市長 まず、市民の皆様にご一体感を持っていただくことを重要視しました。イベントの一体化などさまざまな事業を通して交流を進め、一体感の醸成に取り組んできましたが、民間の経済団体や各種の市民団体も統合されるなどのご協力もあり、より早く一体感を持つことができたと思います。

また、合併と同時に国が進めた三位一体の改革の影響で合併による財源効果が打ち消されるという厳しい状況でのスタートで、行財政改革も大きな課題でした。新市発足当初は、先5年間の歳出に対して毎年度約40億円の歳入不足が見込まれる状況でしたので、まず、特別職や職員の給与を見直し、組織をスリム化して職員を削減しました。また、内部事務経費を見直すなど徹底的に無駄を省く作業を行って経営改善するとともに、市民の皆様にも各種補助金や料金の見直し等にご理解いただき、財政運営の健全化に一定のめどを付けることができました。

津山 市民アンケートで寄せられた意見では、まだ合併の効果は実感されていないようです。

市長 合併しなかった場合との単純比較はできませんが、従前の自治体規模では着手が難しかった新山口駅ターミナル整備や、以前からご要望のあった図書館や資源物ステーションの整備など、生活基盤の充実や市全体のサービス向上にも着実に取り組んでいます。

多くの方が「合併したらサービスが向上し、負担が小さくなる」と期待されたと思いますが、現実には合併前の各種制度を統一する過程で、厳しい財政状況から一部地域で新たな負担をお願いせざるを得ないものもありました。サービス水準の調整は大きな課題で、市民の皆様や議員の方々にも大局的な視点から建設的に議論いただいています。この5年で土台ができたところで、市民の皆様が合併してよかったと思っただけでいい、これからもしっかりと取り組んでまいります。

津山 今ががんばり時ですね。



インタビュアー
つやま なおこ
津山 奈穂子 さん

市内在住のフリーレポーター。山陽小野田市出身。市政番組をはじめとする県内民放ローカル番組のレポーターやCMナレーション、イベント司会などを務める。現在、2歳児と7歳児の子育てと仕事に奮闘中。



「これからのまちづくり」 「広域県央中核都市づくり」

津山 山口市は合併によって市域が広くなり、海や山など自然も豊かで都市部もあって、多様な地域資源に恵まれています。これらの特色を生かし、どのようなまちづくりに取り組まれますか。

市長 大きな方向性はふたつあります。ひとつは、県庁所在都市として責任を果たし、県勢に貢献していくこと、もうひとつは近隣の各都市が持つ強みを発揮しながらゆるやかに連携し、その相乗効果で圏域、県全体の発展につなげていくというその一翼を担っていくことです。

県中部圏域は、福岡、広島という中核都市圏の中間に位置して、富や若者の流出が加速しています。それを防ぐためには、雇用を創出できる一定の経済規模と求心力を持った都市の形成が必要で、私は、県内の都市が一極集中でなく分散型になっている状況を生か

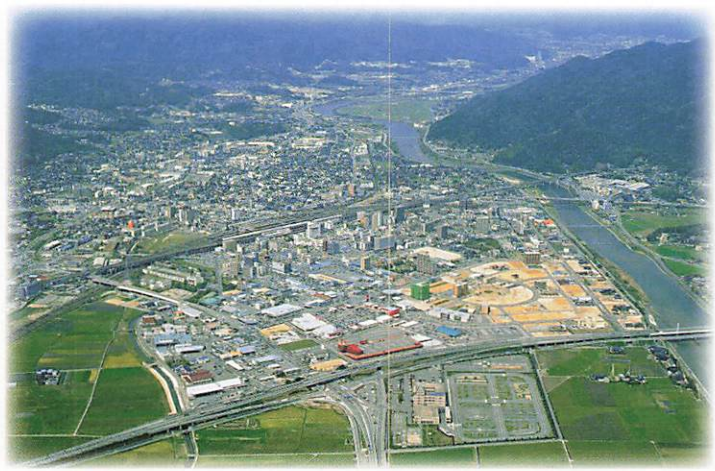
して、県央に人口約60〜70万人規模の、福岡・広島中核都市圏に対抗できる地域経済を支える受け皿となる都市連携による「広域経済・交流圏」を形成することが必要だと考えています。

津山 「広域経済・交流圏」の中で、本市の役割はどのようなものになりますか。

市長 本市は、高速道路や新幹線が停車する新山口駅など広域交流結節点としての優位性をはじめ、広域的な影響力を持つ、対事業所サービス業が立地し、業務、流通等の企業間同士の取引が活発な小郡都市核や、行政、文化、商業等の機能が集積した山口都市核、加えて、大学や医療機関などの高次都市機能を有しており、さらには、豊富な地域資源を活用した農林水産業、観光の振興等において、圏域の中で、中心的な役割を果たしていくことができると考えています。私たちは、それを「広域県央中核都市」と呼んでいます。

また、「広域県央中核都市」として、グローバル化を見据え、メディア芸術など特定分野において世界に通用する価値を創造し、文化都市としてのイメージを発信するとともに、先般も、友好都市の済南市を訪問し、観光客誘致のためのトップセールスを行ってきたところですが、経済成長が著しい東アジア地域を意識した経済・観光交流にも力をいれたいと考えています。

津山 新山口駅ターミナルパークの整備などは、まちづくりの構想の中でどのように位置付けられているのでしょうか。



市長 「広域経済・交流圏」を形づくるために、拠点となる「都市核」は必要不可欠です。本市では、現在、小郡と山口の2つの「都市核」の強化に取り組んでいます。

「小郡都市核」の大きな特徴は「高速交通の結節点」です。現在、平成26年度の完成を目標に進めている新山口駅ターミナルパーク整備はこれを先導する事業で、県の陸の玄関にふさわしい産業交流拠点の形成を目指しています。「山口都市核」では、中心商店街と湯田温泉の活性化に取り組んでいます。

す。中心商店街の振興には官民一体となった取り組みを進めています。民間の方々との取り組みは大変心強く、行政もしっかりと支援していきたいと思っています。

津山 山口の豊かな自然を地域資源として活用する取り組みには、どのようなものがありますか。

市長 そうですね。本市には県内一の経営耕地面積があります。また市の面積の7割が中山間地域で森林資源も豊富です。たとえば阿東の和牛やりんご、秋穂のクルマエビや阿知須のくりまさるなどは、生産者の方々が丹精込めて育てあげ、ブランド品として品質の維持向上やさまざまな製品化にも取り組んでおられます。このような取り組みを踏まえて、さらに地産地消や異業種間交流を進めて、農林水産業の第6次産業化（※注）を積極的に進めていきたいと考えています。また、観光産業に結び付けていきたいと思っています。

津山 地元産は新鮮でおいしいですね。地元産を使ったお菓子も人気があります。商品が増えるのとても楽しみです。

※注 農林水産業（第1次産業）と加工（第2次産業）、流通・販売（第3次産業）を融合・連携させることにより、新たな付加価値を生み出し、地域ビジネスや新産業を創出して産業を活性化する試み。

「魅力あるひと」が暮らす 「魅力ある住みよくなります」

津山 山口に住み続けたいという方も多いかと思えます。産業が元気になって、定住人口が増えるといいですね。

市長 市民の皆様から、若者の雇用の場を確保してほしいとの切実な声をお聞きしています。本市は学園都市としても歴史があり、やはり山口で育ち、学んだ若者には山口に定住していただきたいですね。本市は企業誘致にも力を入れていまして、若者を中心に雇用の創出、定住対策にも取り組んでいます。

また、女性がさらに社会進出できるように、子育て環境の整備なども重要



な課題だと考えています。

津山 私もふたりの子どもがいますので、仕事に出るときは安心して子どもを預けられるところが必要です。保育料も悩みのタネです。

市長 確かに子育てにはお金がかかります。女性が能力を發揮し、社会で活躍していただく場を整備することは社会全体にも大きなプラスになります。そのためにも子育て支援の充実は、本市が力を入れている施策のひとつとして、この10月から4歳未満の子どもさんまで対象を拡充した乳幼児医療費助成事業は今後も充実させていきたいと考えています。保育料の負担軽減にも取り組み、さらに保育園待機者ゼロを目指して施設整備を進めるなど、総合的な対策を進めています。（6・7頁参照）「子ども手当」など国もようやく本腰を入れてきましたが、市が先手の対策を打ち出すことによって、国の政策に刺激を与えることも必要だと考えています。

津山 安心して生活するための高齢者福祉や公共交通についても、市民の関心が高いようです。

市長 高齢者福祉は、介護保険などの公助、地域福祉などの共助、家庭介護などの自助で支えられています。介護者支援や担い手の問題など課題は山積みですが、まずはお年寄りの方々の健康づくりや介護予防策に力を入れる必

要があると思います。お年寄りの方に活躍していただくためにも移動手段の確保は重要な課題として、現在、市内8カ所でコミュニティタクシー実証実験を行うなど、行政と市民、事業者が協力して公共交通を充実する取り組みを進めています。また、中山間地域では、民間事業者のネットワークを活用した日用品配送モデル事業にも取り組めます。



津山 どんどん外に出て交流し、いつまでも元気で、ということですね。また、過疎地域でも安心して暮らせる環境づくりにも取り組まれているんですね。そうなること、さらに「地域社会のつながり」が重要になってきますね。

市長 そうですね。市民の皆様が地域固有の歴史と文化に誇りを感じ、地域の人間関係を大切にして暮らすことが一番大切です。

そこで本市では平成21年4月に「山口市協働のまちづくり条例」を施行し、行政と市民、市民と市民とが互いに手を携え、ともにまちづくりを行うことにより新たな公共の形をつくらうという「やまぐち式協働」のまちづくりを進めています。

これは、古くから日本の地域を支え、今、失われつつある「公共」を現代にふさわしい形に再編して、人々や地域の絆を作り直す作業ともいえます。私たちは、支え合ってしか生きていくことはできません。そして、誰もが自分の居場所を得たい、誰かの役に立ちたいと思っています。そんな思いを身近に充足できるのが地域であると考えています。

津山 具体的には、どのような取り組みが進んでいるのでしょうか。

市長 現在、市内21地域の地域交流センターを拠点に、住民の自治組織である「地域づくり協議会」が主体となって、地域の特色に応じたまちづくりを進めていただいています。

今年度からは、地域に財源や権限を移し、市税収入のうち約1%の2億円を「地域づくり交付金」として、各地域にお配りしています。これは21地域それぞれの特色に合わせて使ったいくもので、21通りの住民自治のかたちがあつていいと考えています。

津山 民と官が一緒に知恵を出し合いながら、自分たちのまちを自分たちで

より住みよいまちにしていきしょう、ということですね。

市長 各地域で市民主体のまちづくりが進められ、学校、保育所や医療機関、商店などもあり基本的な生活は地域内で充足できるようにしたいと考えています。そして、市内のどこに住んでいても、高校や大学、拠点病院などがある「都市核」にアクセスできるよう、公共交通も充実させ、道路網、情報網などのネットワーク機能を強化し、重層的なつながりをもった都市構造を目指しています。

津山 合併を経て、画一的ではなく、きめ細やかなまちづくりに向かっている、ということですか。

市長 子どもさんの教育も学校と家庭、地域が連携することが大切です。お年寄りが生きがいを持って生活する基盤も地域にあるべきです。この「地

域核」を基盤に、市民が満足感をもって生活できる、人と人のつながりが豊かなまちをつくっていききたいと考えています。

津山 最後に、市民の皆様メッセージをお願いします。

市長 市民の皆様の個々のニーズも多様化する中、市民の皆様だけ、行政だけでまちづくりをすすめていくのは難しい時代です。行政も市民の皆様を聞き、きめ細かな施策を推進していきますので、市民の皆様にも、何かしらの場面で、まちづくりに参画していただきたいと思います。例えば、地域の行事に赤ちゃんがいる、私たちに元気な声を聞かせてくれる、それだけで私たちは元気をもらえます。子どもさんからお年寄りまですべての市民が健康やかにいきいきと暮らせるまちを目指して、これからも、皆様と共に考え、共に歩んでいききたいと思っています。



人々の心が通い合うまちづくりを進めていきたいと考えています。

細やかなまちづくりが行われているんですね。

市民の声が反映された市政への取り組み

行政経営システムによるまちづくり

本市では、市民満足度の向上を目指して、施策ごとに指標を設定し、毎年実施するまちづくりアンケートの結果などをもとに成果を検証し、事業を展開しています。ここでは、子育て支援の施策を例に、具体的な流れなどを紹介します。



前年度の事後評価を実施 スプリングレビュー

年度当初の4月から5月にかけて、前年度に取り組んだ施策や事業の事後評価を実施し、市総合計画の進捗状況の把握や、原因分析、また施策や事業の課題の整理等を行っています。子育て支援の施策については、左のとおりです。

施策とは、政策を実現する手段のことです。「支えあい健やかな暮らしのできるまち」という健康や福祉に関する政策のもとには、健康増進、高齢者福祉などの具体的な分野があり、その一つである子育て支援の分野については「子どもの健やかな育ちを支えあうまち」として掲げています。

さらに、基本事業とは、施策を実現する手段を示しています。今回の

りです。

例では、「子育て支援環境の充実」など、6つの基本事業の成果が、施策の成果につながっていくという考え

方です。

市では、今回取り上げた以外にも、具体的な事務事業について「行政が実施する必要があるのか」「まちづくりや施策の推進にどの程度貢献しているのか」「コストの削減はできないか」といった観点から、評価作業を行っています。

次年度予算編成に向けた準備作業 サマリーレビュー

7月から8月にかけては、中期的な施策の経営方針の作成と、それを実現していくための具体的な事業の組み立て作業を行っています。

今回の例では、施策の中期的な課題を、「ひとり親家庭、共働き家庭の増加等による保育サービスを必要とする児童の増加への対応」とし、中期的な経営方針を「保育園の待機児童解消を総合的、計画的に実施すること」としました。保育サービスの充実を重点的・集中的に行っていくこと、そのために、高優先度の事務事業として「私立保育園整備費助成事業」を設定しました。

スプリングレビューの評価結果や全庁的な政策的課題に対して、今後どのように対応していくのか、次年度の計画や予算にいかにつなげていくのかということを主眼に取り組んでいます。

基本事業のどの部分に重点をおけば、施策としての成果指標が改善していくのかという視点で取り組んでいます。

【施策の分析】

不況の影響もあって、待機児童が増えています。待機児童の解消に向けた取り組みが必要です。今後は女性の就業者を増やす視点から、どこまで保育所の定員を増やすのか検討する必要もあります。

成果指標とは？

成果指標とは市総合計画に示されている施策や基本事業の狙いが、どの程度達成されたかを数値化して測るものさしです。

成果指標は「なにをどれだけやったか」ではなく「なにがどれだけ良くなったか」という観点で設定しています。

※成果指標には、「子どもを安心して生み育てられる環境が整っていると思う、子どもを持つ親の割合」など、まちづくりアンケートから設定したものと「待機児童数」など、実数によるものがあります。

成果指標の現状値は？

まちづくりアンケートから

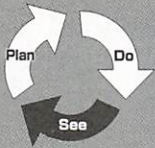
まちづくりアンケートは、成果指標の目標値に対する現状値や、各行政分野に対する市民の満足度・重要度を把握し、今後のまちづくりに生かしていくことを目的として実施しており、重要な役割を果たしています。

※アンケートは、毎年1回住民基本台帳から無作為に抽出した18才以上の市民約5,000人を対象に実施しています。



市総合計画では、施策体系を「政策」(方針) - 「施策」(分野) - 「基本事業」(手段) - 「事務事業」(具体事業)の階層に分けています。

本市の行政経営システムとは、市総合計画に定めた目標に向かって効果的・効率的に施策や事業が展開されているかどうかを検証するため、この階層ごとに「計画(Plan)」- 「実行(Do)」- 「評価(See)」という一連のサイクル(PDSサイクル)を円滑に機能させ、効果や成果を検証しながら次の事業展開に生かしていく仕組みです。検証結果は、毎年、「まちづくり達成状況報告書」に整理し、公表しています。



行政経営システムの具体例

スプリングレビュー資料（平成21年度の事後評価）から

政策「支えあい健やかな暮らしのできるまち」の子育て支援の施策の場合

施策とその実現のための基本事業について、それぞれに設定した成果指標と、年度ごとの数値を以下の通り整理し、その推移から分析・評価を行っています。

■ 施策

施策	成果指標	単位	18年度 (基準値)	19年度	20年度	21年度	24年度 (目標値)
子どもの健やかな育ちを支えあうまち	子どもを安心して生み育てられる環境が整っていると思う、子どもを持つ親の割合	%	44.2	44.6	45.7	45.9	55

■ 基本事業

基本事業のそれぞれについて、目標値を目指して活動しています。ここ数年の取り組み結果と、目標値を比較することで、次の課題を見つけていきます。

基本事業	成果指標	単位	18年度 (基準値)	19年度	20年度	21年度	24年度 (目標値)
子育て支援環境の充実	子育ての不安や悩みを解決できている親の割合	%	53.5	51.8	48.6	51.1	60
保育サービスの充実	保育所待機児童数	人	37	0	2	13	0
	児童クラブ待機児童数	人	37	67	35	26	50
子どもたちの交流の場づくり	児童館利用者数	人	78,577	72,021	77,017	63,761	80,000
児童虐待の防止	児童虐待通告件数	件	22	76	57	33	30
	養育に関する相談件数	件	940	1,251	1,402	1,269	970
	児童虐待通告ケースのうち虐待の重症度が重度以上の件数	件	3		3	1	3
母子福祉の充実	母子福祉サービスを受けている延べ世帯数	世帯	3,494	3,639	3,666	3,801	3,600
相談体制の充実	子育てや教育に関する相談窓口を知っている親の割合	%	73.6	71.1	71.9	65.7	80

基本事業の「保育サービスの充実」を例にすると、成果指標の動向を次のように分析・評価しています。

[成果指標] 保育所待機児童数

待機児童数は増加しており24年度の目標値と比べると不調と言えますが、基準値から比べると大幅に改善されている状況です。核家族化や両親の共働きの増加、ひとり親世帯の増加などにより、保育ニーズは今後も高まる傾向が予想されます。年度中には、整備による定員の増加が図られませんが、22年度には私立認可保育所で定員増が図られます。→ 今後は、保育園の新設等、待機児童の減少へとつなげていく必要があります。

[成果指標] 児童クラブ待機児童数

待機児童が昨年度比9人減少となっており、基準値および24年度目標値を下回り、順調に推移しています。21年度中に新たに平川小と小郡南小において新設し、22年度には大内南小、嘉川小、良城小に新設する予定で、着実に整備を進めているところですが、今後も入級希望者の増加が想定されます。→ 今後は、保育環境の改善が必要なクラブについての施設整備も行い、引き続き待機児童の解消と保育環境の改善を図っていく必要があります。

結果は予算編成に向けての有効な資料に

秋以降に行う予算編成時には、スプリングレビューやサマーレビューの取り組みを踏まえ、本市を取り巻く環境変化に対応していくために、「どこを見直す必要があるのか」、「どのような事業が必要なのか」をさらに検討し、最終的な予算案や事業計画案を作成していくこととなります。

すべての施策・基本事業に成果指標・成果志向・市民志向型

このように、本市では、34の施策と174の基本事業に、あわせて352の成果指標を設定し、これを行政経営システムの中で有効に活用することで、市民のニーズを的確にとらえ、まちづくりに反映させていきます。

そして、こうした行政経営の取り組みを通じ、平成19年10月に策定した市総合計画の、10年後の目指すまちの姿「ひと、まち、歴史と自然が輝く 交流と創造のまち山口」の実現につなげていきます。

ぜひ一度ご覧ください 「まちづくり達成状況報告書」

市では、まちづくりの達成状況やその原因分析などの評価結果を、まちづくり達成状況報告書によって報告しています。

※まちづくり達成状況報告書は市ホームページ、各総合支所情報コーナーでご覧いただけます。

紹介します！

輝くひと

首都圏で輝く人



山口七夕会首都圏事務局

ICT担当

よねかわ たかひろ

米川 孝宏さん (36)

エイチユービー

HUBネットワークス株式会社

代表取締役社長兼CEO

今回は、ふるさと山口を思い、首都圏で活躍されている米川さんに、山口七夕会の活動、またそれを通じて感じたことなど、お話を伺いました。

■問い合わせ 市広報広聴課
(☎ 083-934-2753)

山口七夕会とは ふるさと山口を絆にした楽しい集い

山口七夕会は、山口にゆかりのある方、山口が好きならならならなたでもご参加いただける集まりです。全国各地、また、世界中でご活躍の方々、地元の方々など、さまざまな方が会員です。会員同士が親睦を図り、教養を高め、郷土山口市の発展に寄与することを目的に、さまざまな活動を行っています。最近では、山口に実家があって、首都圏や各地にお子さんがいらっしやる親子会員も増えています。

首都圏事務局の活動は？

山口在住の方々も増えています。首都圏の会員が多いこともあり、首都圏にて交流会や講演会、各種イベントを企画、開催しています。よりよい活動となるよう具体的な準備等を首都圏事務局で行なっています。事務局には、長寿担当、女性部、児童担当などを配

置して、山口七夕会2020ビジョンのもと幅広い活動を実現していく体制をとっています。

関わるきっかけは？

インターネットで山口七夕会のことを知り、年一回の総会に参加したのがきっかけです。大内で生まれ育ち、山口高校を卒業して上京してから、なかなか山口の人と会う接点がなかったですね。同郷の方がどんなことをされ、どんなことを考えているか知りたいと思っていたこともあり、山口七夕会の活動に興味をもちました。

上京きっかけは？

高校を卒業後は東京の予備校に寮生活で1年通い、東京工業大学の電気・電子工学科に入学、大学院社会理工学研究科に進学し、音楽についての人工知能関係の研究で工学博士号を取得しました。幼少から高校までピアノを

習っていましたので音楽にも興味があり、自分に合ったテーマで研究ができたいと思います。大学で研究を続ける道も考えたのですが、一度しかない人生を後悔しないようにと心に決め、大学院で工学博士号を取得と同時にソフトウェア開発のベンチャー企業を立ち上げました。現在、9年目を航行中です。

ソフトウェア開発の魅力

ソフトウェアってすごいんです。いいものを一つつくったら、それが瞬間にして世界中の人々の生活、仕事を変えてしまうんです。最近の言葉で「クラウド・コンピューティング」などと呼んだりします。ニューヨーク市にもオフィスがあり、日本国内だけでは得られにくい情報を日々キャッチしながら、より人々の生活に役立つものをつくっていきたくと思っています。現在は、「会社に届く膨大な量のメールを効率よく管理して、お客様に早く、確実にメールの返信ができ、社員の負担も軽減、業務を効率化して残業をなくすシステム」な

どを提供しています。将来実現したいことは、そうですね、「人間が人間らしく生きられるためにアドバイスをするシステム」などいろいろ構想中です。

メッセージ これからの若者へ

これからは個が活躍する時代です。グローバル化がますます進むこれからの社会では、異文化を理解する能力が問われるのではないかと思います。また、自分も持っている個性を最大限發揮して社会に貢献する時こそ、自分も満足、社会も満足すると思うのです。若いみなさんは、学校や職場、いろいろな人との関わりの中で、他に関心を持ち、知見を広めることが大事だと思います。世界に一人しかいない自分を磨き続けていると、きつと周りがあなたを必要とするのではないのでしょうか。ふるさと山口には、若者の無限の可能性に満ちた芽をのびのびと育み、あらゆる分野で必要とされる人材を輩出する環境があると思いますよ。

山口七夕会ホームページ 「山口七夕会」で検索！



ご年配の方から若者、女性も男性もいろいろな人がいらっしやいます。経験豊富な人生の先輩方と身近にお話していると、山口という絆でつながっているのを感じます。知り得なかった山口に関するお話をいろんな側面から聞くことができる貴重な会です。ぜひ一度ホームページをチェックしてみてください。

キシタの串ぐらし

その3：「夏を振り返って」

突然ですが、夏祭りが好きです。花火はもっと好きです。いつもは祭りに「行く」でしたが、今年は「参加する」機会が多く、今までとは違う楽しさがありました。



まずは山口七たちょうちんまつり。担いでみたいなんて軽い気持ちで言ってしまいました・・・姫御輿。御輿って重いんですね、やっぱり。御輿に飾られたちょうちんはきれいですが、残念ながら担いでいる本人に見る余裕はありませんでした。そして翌日の肩と腕の



痛かったことといったら・・・。今度は御輿を担がない裏方を希望します(笑)

ちょうちんまつりでは、ちょうちん飾りの設置もお手伝いしました

農山村での暮らしに興味を持つ若者を、地域活性化を目指す地方自治体に1年間派遣する事業「緑のふるさと協力隊」で、今年4月に奈良県から徳地串へやって来た喜下美穂さん。このコラムでは、喜下さんが、串のみなさんとの日々の暮らしの中で感じたことや気付いたことをつづります。

次は八坂ふるさと夏祭りです。これは、やまぐちサッカー交流会場にある食堂「八坂の里」を時々手伝っているため呼んでいただきました。ただでさえ暑い中、炭火で焼きそばを作るので暑さ倍増、ビールの美味しさも倍増です。

そして八坂の翌日が、メインの(私にとって、です)串ふるさと夏祭り大会。準備のため集まった人のほとんどが60代から80代なのが串のすごいところで、少しさみしいところかな、と思うのですが。それはともかく、盆踊りは事前に練習済みなので問題ないし、仰せつかった大役の司会もなんとか無事に(?)できまし、舞台上でカラオケまで歌ってしまい、大満喫の一日でした。



祭りの楽しさは規模の大小よりも関わり方によるのだと実感した今年の夏でした。

ご覧ください 山口市の広報番組 10月の放送予定です



2コーナーで構成。人や文化、歴史などの地域資源を紹介する情報番組です。

山口ケーブルビジョン (12チャンネル)

■「このまちに愛たい」^{あい}「infoやまぐち」^{インフォ}番組表

曜日	10/1(金)～15(金) ①
月、水、金、日	7:35 *12:25 21:50
火、木、土	*7:55 12:05 *22:10
曜日	10/16(土)～31(日) ②
月、木、日	7:35 12:05 *22:10
火、金	7:35 *12:25 21:50
水、土	*7:55 12:05 21:50

※「info やまぐち」のみの放送(10分)

「このまちに愛たい」(20分)

- ① ～わたしたちがご案内します～
森林セラピーの魅力伝える「森の案内人」
- ② ～山口国体・山口大会まであと1年～
進んでいます!おもてなしの準備

「infoやまぐち」(10分)

1週間更新で、市からのお知らせを放映



市政のPRから地域情報まで、生活に身近な話題を幅広くお届けします。

山口朝日放送 (YAB)

毎週水曜9時55分から4分間放送

6日 「没後70年記念展
山頭火一生と死」

13・20・27日 「地産地消」

私たちのまち



市政情報や各種イベント情報などを分かりやすくお伝えする番組です。

テレビ山口 (TYS)

毎週日曜11時40分から4分間放送

3日 「親子ふれあいジャンボリー」

10・17・24日 「森林セラピー」

31日 「定期観光バス」

○番組の感想をお寄せください

〒753-8650 山口市亀山町2-1

市広報広聴課あて

☐ koho@city.yamaguchi.lg.jp

市政トピックス

防災図上訓練を実施

9月1日の「防災の日」に、円滑な災害対策本部活動および情報の整理・伝達・共有化を目的とした防災図上訓練を実施しました。



図面を活用した訓練の様子

訓練は、平成11年9月に、本市瀬戸内沿岸に大きな被害をもたらした台風18号と同様の台風を想定して行われました。災害対策本部では、高潮を想定した避難勧告の発令や被害を最小限に止めるための各種方策について協議をし、また各担当部

局においては、各地域交流センターおよび各総合支所、災害対策本部で受け付けた仮定の災害情報を情報機器等によって整理、伝達することも、共有情報として確認できるよう、取り組みました。

訓練終了後、アドバイザーとして参加いただいた陸上自衛隊、県防災危機管理課、警察署からアドバイスをいただき、今後役に立てることとしました。今回の訓練を踏まえ、市では今後災害体制の充実・強化に努め、安心・安全なまちづくりを目指します。

市防災危機管理課
(☎0833・9334・2723)

仁保地域交流センターを開館

9月6日、仁保地域交流センターを開館しました。これは、道の駅「仁保の郷」と一体となった、仁保地域の新たな地域づくりの拠点施設として旧施設から移転・新築したものです。

開館に先立って9月4日に開催した落成式で市長は「このセンターが、仁保地域のみなさんによる特色ある地域づくり活動がさらに活発化するため、新たな地域づくりの拠点として、親しみをもって利用され、仁保地域の元気を生み出す中心的な役割を担う施設となることを期待しています。」と述べました。

新しい仁保地域交流センターは、2

階部分まで吹き抜けの大ホール、オープンデッキと一体的な空間となる交流スペースや、離れのような和室の「仁保亭」、屋外には仁保



ビオトープに仁保川の魚を放流する様子

の豊かな自然を象徴するビオトープなど、さまざまな世代のみなさんが集うコミュニティの場としての工夫が凝らされています。

市協働推進課
(☎0833・9334・2665)

山口市史「史料編 大内文化」(第2回配本) 刊行

本市の歴史を市民共通の財産として後世に伝えることなどを目的に編さんを進めている山口市史「史料編」(全8巻)のうち、第2回配本となる「史料編 大内文化」を刊行し、10月1日より販売を開始します。

今回は、大内時代の文学や芸術分野の資料収録に力を入れ、大内氏にゆかりのある主要な文化財や史料を市内

外から収集し、大内文化の多様性をご理解いただけるよう編集しました。また、山口開府650年の由来となる史料である「大内氏時代山口古図」(原本 山口県文書館所蔵)に解説を添えた資料を附図とし、カラー図版も大幅に増やすなど、充実した内容となっています。

市内の小・中・高等学校や図書館、地



刊行される山口市史

域交流センターにも配布します。ぜひご覧ください。

■仕様 A5版縦 上製本 1072ページ 函入

■発行部数 1500部

■価格 7000円(消費税込)

■販売場所 市文化政策課

※郵送可。詳細は、要問い合わせ

市文化政策課市史編さん室(小郡総合支所内) ☎0833・9773・24300

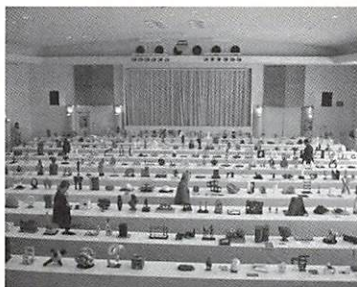




近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

宇部市

UBE ビエンナーレ応募作品展



前回の模型展の様子

UBE ビエンナーレ[※]は日本最大級の野外彫刻の国際コンクールです。来年秋の第24回本展開催に向け、世界各国から応募されたすべての模型作品を公開します。(入場無料)

■日時 10月18日(月)～11月7日(日)
10時～17時

■場所 ときわ湖水ホール(ときわ公園内)

■問い合わせ ときわミュージアム
(☎0836-37-2888)

※ビエンナーレ [biennale]
イタリア語で「2年に一度」の意。1年おきに定期的
に開かれる美術展覧会を指します。

防府市

塩田まつり

■日時 10月9日(土)9時30分～14時
(雨天中止)

■場所 三田尻塩田記念産業公園
(防府市大字浜方381の3)

■内容

- ・塩のおもしろ実験…9時30分～10時20分、
12時～13時30分
- ・塩づくり体験…10時20分～11時30分
(9時30分から受け付け)
- ・おむすび作り…12時から
- ・その他…釜たき実演、クイズ、バザー、もちま
きなど

※入場無料

※当日は会場に駐車できません。防府市体育館「ソ
ルトアリーナ防府」西側駐車場発着の無料送迎
車、公共交通機関等の利用にご協力ください。

■問い合わせ 三田尻塩田記念産業公園
(☎0835-25-3510)

10/10日

9時～15時 ※雨天決行

10月は環境型社会形成推進月間

第12回 やまぐちエコパークまつり

楽しくためになる催しがいっぱいです。ぜひ、お越しください。

- リサイクルに関する夏休み作品の表彰(10時～10時30分)
- フリーマーケット、衣類の販売(9時～15時)
- おもちゃの病院(受付10時30分～12時)
- エコクイズラリー・枝と木の実を使ったパチンコづくり(10時30分～
14時30分)
- リサイクル作品展示(9時～15時)
- 古紙、びん、プラスチック製容器包装のリサイクル展示、説明
(10時30分～15時)
- リサイクルファッションショー(11時30分～12時)
- ダンボールコンポスト紹介&ピンゴゲーム(12時～13時)
- 再生自転車のオークション(13時から)
- もちまき(1回目…10時30分から/2回目…14時40分から)
1回目のもちまきは小学生以下対象
- バザー(9時～14時30分)
うどん、カレー、ぜんざいなど…食べ終わったら分別しよう!
- クイズ、あそび(10時30分～14時30分)
ペットボトルボウリング(小学生以下対象)/分別に挑戦

※駐車台数に限りがあるため、乗り合わせの上、お越しください。

※当日は資源物の持ち込み場所が変わります。係員の誘導に従ってください。

今年のテーマ

“エコライフの実践”
環境から創る健全で
恵み豊かなまち やまぐち

体験コーナー

10時30分～15時

※一部時間が異なります。

- ・牛乳パック工作
- ・トルペインティング
- ・フラワーアレンジメント
- ・箆袋
- ・アロマで帽子
- ・さき織り
- ・生ごみ堆肥で花づくり(先
着100人)

■場所・問い合わせ 市リサイクルプラザ(大内御堀489-8 ☎083-927-7122)

GO!2011

おめでとう!山口国体
おめでとう!山口大会



ちよるる通信

■問い合わせ 市国体推進局総務企画課 (市実行委員会事務局
☎ 083-984-8121) <http://www.choruru.net/>

大会マスコットキャラクターの「ちよるる」です。今月はサッカーを紹介します。千葉国体・千葉大会の出場選手が決まったよ!



9月16日、山口総合支所で、ゆめ半島千葉国体・千葉大会に出場する選手の激励会を開催しました。
同国体・大会では、山口市から79人の選手が24競技に出場します。山口県選手団「チームやまぐち」は、来年開催する山口国体・山口大会へのステップになるよう、千葉国体で総合15位以内の目標を掲げ大会に臨んでいます。
なお、出場選手の詳しい紹介は、市実行委員会ホームページ(上記参照)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

ゆめ半島千葉国体・
千葉大会出場選手決定!



●ゆめ半島千葉国体 (第65回国民体育大会)

大会マスコット
キャラクター
チーバくん



9月25日(土)～10月5日(火)

●ゆめ半島千葉大会

(第10回全日本障害者スポーツ大会)
10月23日(土)～10月25日(月)



激励会で選手を代表し健闘を誓った小笹幸平さん(左:陸上競技少年男子A 100m出場西京高校2年)、岩本裕美さん(右:陸上競技スラローム、ビーンバグ投 出場)



ライフル射撃CP リハーサル大会レポート!



9月3日～4日、仁保の山口県警察学校けん銃射撃場で、リハーサル大会「全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会」を行いました。

会場に花を搬入 大会の運営には、仁保・小鯖・徳地・阿東地域のみなさんにご協力いただきました。会場では、各地域で育てていただいたきれいな花を飾り、選手をお迎えしました。

また、当日は仁保子ども会のみなさんのご協力の下、地元仁保産のもち米玄米粉などを使ったシフォンケーキを、来場者に振る舞いました。



大人気のシフォンケーキ

みんなで応援しよう!

ダンスチーム「スタジオF」が おいでませ!山口国体・山口大会 ダンスコンテスト本選に出場!



8月28日、山口市民会館で、ダンスコンテスト県央部予選会が開催されました。

山口市内の出場チームからは、ダンス教室の小学生を中心とした「スタジオF」チーム(大内長野)が、イメージソングダンスの部で優秀団体に選ばれ、本選への出場権を手に入れました。

本選は10月11日(月・祝)に、萩市中央公園で行われます。みんなで応援しよう!



予選会の様子

競技概要



世界中で愛されている人気のスポーツです！

○競技の特徴

国体のサッカーは、「成年男子」「少年男子」「女子」の種別があり、すべて試合時間70分(前後半35分)で試合を行います。決着が付かない場合は20分(前後半10分)の延長戦を行い、それでも決まらない場合はPK戦で勝敗を決めます。山口市では「女子」と「少年男子」の試合を開催します。特に女子サッカーでは、日本を代表する選手も出場します。



リハーサル大会

第46回全国社会人サッカー選手権大会

期間 10月16日(土)～19日(火)

場所 山口きらら博記念公園

サッカー・ラグビー場/スポーツ広場

※決勝戦は、20日(水)に下関市営下関陸上競技場で開催

※山口県代表として、レノファ山口が出場

ちよるるの観戦アドバイス

迫力満点の強烈なシュートを見逃さないでね！
ボールを持っていない選手の動きにも注目だよ。



選手紹介



レノファ山口所属
ふじい ひとし
藤井 仁詩 さん
(宮野出身)

Q1 競技を始めたきっかけは？

父がサッカーをしており、身近に感じたからです。

Q2 思い出に残っている試合は？

大学時代に全国3位になった、総理大臣杯です。

Q3 競技を観戦する際のポイントは？

ヘディングやボールを奪い合う迫力あるプレーに注目して下さい。

Q4 「おいでませ！山口国体」への思いと目標を！

優勝を目指して、全力で戦います！

売店出店者を募集します



体操のリハーサル大会会場で国体関連グッズやスポーツ用品、郷土物産品、飲食物などを販売する売店出店者を募集します。

- 大会期間 12月3日(金)～5日(日)
- 会場 山口県スポーツ文化センター(維新公園内)
- 出店数(出店料) 8ブース(18,000円/ブース)
※別途施設使用料として3,240円
- 貸出物 テント1張(2間×3間4方幕付)、机4台、いす4脚
- ※その他、必要品は各自で準備すること
- 出店資格 市内に店舗を有し、申請時に1年以上営業を継続している方、または競技団体の推薦がある方
- 申し込み・問い合わせ 10月22日(金)までに、備え付けの申請書に必要事項を記入し、山口商工会議所(〒753-0086 中市町1-10 ☎083-925-2300)
- ※申請書は、下記のホームページからも入手できます。
- ・山口商工会議所 ☎<http://www.yamacci.or.jp/>
- ・市実行委員会 ☎<http://choruru.net/>

★ 応援します! ★ 山口国体・山口大会

「おいでませ！山口国体・山口大会」の開催に携わっている方からのメッセージを紹介します。

かとうようこ
vol.7 山口文化協会会長 加藤耀子さん

47年前「いちほち国体」の愛称で親しまれた第18回山口国体のさまざまな場面を懐かしく思い浮かべ、来年開催される第66回山口国体を楽しみにしております。全国的な催し物にはなかなか遭遇できる機会がないので、今回若い力の結集に元気を頂き、ご来山の方々には気持ちよく競技して頂けるようにと願っております。山口文化協会は各分野でお手伝いをお引き受けし、洋舞部門ではダンスの振り付け、指導、コンテストの参加などに力を入れております。10月30日に行われる市民文化祭において、ちよるるダンスを発表するため、参加団体の方々と練習に励んでいるところです。2度目の地元開催を、市民みんなで盛り上げていきましょう！



お知らせ

Information

平成23年山口市 成人式のお知らせ

■日時 平成23年1月9日(日) 式典
14時から

■場所 市民会館大ホール

■対象 平成22年4月2日〜平成23年
4月1日の間に生まれた方

■記念写真撮影 式典前後に地域毎に
撮影

※送迎バスを運行(大殿、白石、湯田
を除く)

※詳細については市報11月1日号でお
知らせします。

■市社会教育課
(☎0833-9954-2800)

ブックスタート ボランティア養成講座

赤ちゃんと絵本の出会いをお手伝い
する「ブックスタート体験会」のボラ
ンティアになりませんか?(受講無料)

■日時 10月21日(木) 14時〜16時

■場所 山口情報芸術センター多目的
室(中園町7-7)

■対象 20歳以上の市内在住・在勤・
在学者30人程度

■内容 講演「赤ちゃんと絵本を手渡
すとき」原田洋子氏(図書館と友だ
ちの会・秋穂代表)、市ブックスタ
ート事業の説明

■申込 10月15日(金)までに、直接
または電話、ハガキ、FAX、E
メールのいずれかで、〒住所氏名、
電話番号を明記の上、中央図書館
(〒753-0075中園町7・
7☎0833-9001-1040 FAX
0833-9001-1144
☐info@lib-yama.jp)

子どもの救急市民講座

子どもの急病とその対応についての
講義です。11月15日(月)から新たに
開設される山口地域夜間子ども急病セ
ンターについても説明します。

■日時 10月16日(土)13時30分〜15時

■場所 カリエンテ山口(湯田温泉五
丁目1-1)

■講師 内田正志医師(徳山中央病院
小児科部長)

- 山口総合支所 ☎753-8650 亀山町2-1
- 小郡総合支所 ☎754-8511 小郡下郷609-1
- 秋穂総合支所 ☎754-1192 秋穂東6570
- 阿知須総合支所 ☎754-1292 阿知須2743
- 徳地総合支所 ☎747-0292 徳地堀1744
- 阿東総合支所 ☎759-1512 阿東徳佐中3417-2
- 託児 ☎0833-921-2666

企画展「中也の住んだ 町―中野・高円寺」

■託児 無料(生後3カ月以上 先着
20人程度)ただし、10月12日(火)
までに要申込

■申込 市保健センター
(☎0833-921-2666)

中也は大正14年4月より約3年半、
東京の中野・高円寺近辺に住んでいま
した。この間、友人の死、恋人との離
別といった悲劇的事件が起きますが、
一方で、代表作「朝の歌」の制作など、
詩人として本格的に始動した時期でも
ありました。この展示では、そのころ
の中也を中心に紹介します。

■期間 10月6日(水)〜平成23年1
月23日(日)

■開館時間 9時〜18時(入館は30分
前まで) ※11月から17時閉館

■休館日 毎週月曜(祝日の場合翌
日)、11月、12月の最終火曜、年末
年始

■所 中原中也記念館(湯田温泉一
丁目11-21 ☎0833-9322-
6430)

一般事業主行動計画の策定・届出義務企業が拡大します

【説明会のご案内】

事業主が、従業員の仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境の整備等について策定する「一般事業主行動計画」の届け出が、平成23年4月1日以降、従業員が101人以上の企業について義務となります。
※平成23年3月31日までは301人以上の企業について義務

このことに伴い、毎月第3水曜の14時30分から15時30分に一般事業主行動計画策定説明会を山口労働局(中河原町6-16山口地方合同庁舎)で開催しています。一般事業主行動計画を策定されていない企業については、ご参加をお願いします。

■申し込み・問い合わせ 山口労働局雇用均等室 (☎083-995-0390)
説明会申込用紙: ☐<http://www.yamaguchi.plb.go.jp/topics/topics405.pdf>
制度に関するHP: ☐<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/koyou/jisedai/index.html>

葉香亭市民ギャラリー

【彩光亭の森く梅原望と】

松井茉莉奈の展覧会 (無料)

2人の山口大学院生の平面絵画、立体作品による空間インスタレーション(表現)で、組作品7点を展示します。
日時 10月7日(木)～10月11日(月・祝) 9時～17時(最終日のみ14時まで)

所 市葉香亭(天花一丁目2-7)
 ☎0833・934・3312

阿知須「いぐらの館」 堀雅昭さん講演会

宇部・阿知須の歴史に詳しい宇部市在住の作家 堀雅昭さんによる阿知須の歴史講座です。廻船業で栄えた阿知須の、江戸後期から幕末までを勉強します。(無料)

日時 10月10日(日)13時30分～15時
所 阿知須「いぐらの館」(阿知須3425 ☎0836・65・2403)

親子で交通安全について 学びませんか

屋外での実車体験、ゴーカートの組み立て・試乗などをする体験型交通安全

全学習です。(無料)

日時 10月30日(土) 9時～15時
対象 小・中学生と保護者20組40人(先着順)

所 山口県交通安全全学習館(小郡下郷3560・2 ☎0833・973・1900)

問 市生活安全課
 ☎0833・934・2765

第6回「元気か でるっちゃんフェスタ

市内各地域の地域資源を生かした都市農村交流イベントです。

日時 10月10日(日)、11日(月・祝) 10時～15時

場所 仁保、小鯖、宮野、徳地、阿東地域の道の駅・直売所・やまぐち食彩店等

■主な開催場所・内容

- ・道の駅長門峡(阿東生雲東分)・・・やまみちゃんプラン
- ・ト商品試食販売
- ・道の駅願成就温泉(阿東徳佐上)・・・バラ湯(女性露天風呂)
- ・徳佐りんご組合：阿東のりんごクイズ(りんご2kgプレゼント有)



※詳細は市ホームページ(表紙参照)にも掲載

※荒天時等では、中止の場合有

問 事務局(山口農林事務所 ☎0833・9222・5229)

道の駅「仁保の郷」 10周年バースデー祭

道の駅仁保の郷が開設10周年を迎え、記念イベントを実施します。

日時 10月10日(日) 9時から

内容 県警音楽隊演奏、オーブニングセレモニー、あとう夢語太鼓演奏、もちまき(午前、午後の2回)ほか

所 道の駅仁保の郷(仁保中郷 ☎083・929・0480)

「棚田でウオークラリー in徳地」参加者募集

徳地三谷地区の棚田をグループで歩きながら、クイズなどに挑戦します。

また、山口・小郡総合支所から、無料送迎バスを運行します。

日時 11月20日(土) 10時～15時

場所 徳地三谷交流センター(徳地三谷146)周辺

対象 小学生と保護者60人(先着順) ※グループ内に市内在住・在勤・在学者がいること

■参加費 1人100円(保険料等)

■持参品 弁当(500円であっせん有)、飲み物、タオルなど

申 11月2日(火)までに、申込書を郵送、FAXで、市農業

振興課(山口総合支所 ☎0833・934・2891 ☎0833・934・2610)

※申込書は、同課、各総合支所に備え付け

日本脳炎予防接種 について

【日本脳炎第2期定期予防接種について】

日本脳炎第2期の定期予防接種が可能となりました。対象年齢内に接種しましょう。

■対象年齢 9歳以上13歳未満(標準として9歳)

■接種回数・費用 1回・無料

■予診票 お子さんが生まれたときにお渡ししている予診票を使用してください。

ない場合は、実施医療機関で入手してください。



【第1期接種がお済みでない方へ】

第2期対象年齢の方で、第1期接種(3回)が完了していない場合は、第2期対象年齢内に、第1期の残りの回数分の接種ができます。(無料) 体調の良いときに早めに接種しましょう。

問 市保健センター(☎0833・921・2666)、市小郡保健福祉センター(☎0833・973・8147)、市健康増進課健康づくり第三担当(徳地総合支所 ☎0835・52・1114)、市阿東保健センター(☎0833・956・0666)

手作りいかだで冒険の旅！ ～親子でわくわくどきどき教室～

阿知須地域の親子40人が「手作りいかだづくり」にチャレンジしました。親子で協力しながら、タイヤのチューブと竹をわら縄で結び、約1時間後、見事いかだが完成！みんなでオールを漕ぎ、橋をくぐり抜け、井関川河口までの約800mの冒険を楽しみ、夏休み最後の週末の思い出を胸に刻みました。(8月28日、阿知須地域交流センター)



湯田に科学の維新をおこせ！！



湯田地域交流センターで山口大学を中心に結成された科楽奇兵隊かがくによる「科学教室」が開催されました。「空気と水の不思議」というテーマで、大型空気砲による空気かの力(圧力)を体感する実験や、低圧での低温沸騰実験などさまざまな実験が行われ、参加した子どもたちからは大きな歓声があがっていました。(8月18日、湯田地域交流センター)

奇岩・巨岩の白石山に挑戦！

秋空のもと、自然に親しみ健康づくりを兼ねて、徳地引谷の白石山かこうざんで「ふれあい登山」を開催しました。標高540.8mと高い山ではありませんが、次から次へと現れる花崗岩の奇岩や巨岩、山頂物見岩からの眺望に、一同、それまでの疲れも吹き飛ばす爽快感を味わいました。(9月9日、宮野地域交流センター)



シューっと！水鉄砲できたかな？

地域子ども広場で小学生たちが竹を使った水鉄砲作りに挑戦しました。自然の竹を使ったので竹の大きさによって出来上がりもさまざま。冷房中の屋内でなぜか汗だくになりながら竹を切り、仕上げは外に出て水の飛び具合を確認しました。水にぬれても暑さですぐに乾きました。夏休みの思い出のひとつになったことでしょう。(8月24日、小郡地域交流センター)



8・9月のできごと

各地域交流センターからの、地域の行事などのレポートです。そのほか、市広報広聴課からも、レポートしていきます。

■問い合わせ 市広報広聴課
(☎ 083-934-2753)



協働のまちづくり
推進キャラクター
キョードーレッド



本格派「中華料理」に挑戦！

「生き生きハーモニー講座」で山口調理製菓専門学校から講師の先生を迎え、本格派「中華料理」に挑戦しました。参加者は、日ごろあまり使わない中華食材の説明や、食材の扱い方の注意点を聞き漏らさないようにしっかりメモをしながら聞いていました。説明を受けた後実際に調理すると、夏の暑さを吹き飛ばす辛さ抜群の本格派中華ができてきました。

(8月10日、名田島地域交流センター)



ゴールを目指せ！

毎年恒例の第20回十種ヶ峰登山マラソン大会が十種ヶ峰山頂をゴールに開催されました。

当日は、気温30度を超える猛暑の中、過去最高の477人が山頂を目指し出走しました。無事ゴールした選手たちは、山頂からの最高の眺めを体験することができました。

その後、スキー場ロッジに戻り、地元婦人会提供のソーメンと冷やしトマトで体を癒やしました。

参加された選手のみなさん、ボランティアスタッフのみなさん大変お疲れさまでした。

(8月29日、阿東地域交流センター)



子どもによる子どものためのお祭り

第27回大内子ども会「夏のフェスティバル」が開催されました。

今回から広がった大内地域交流センターの駐車場に会場を移し、子ども達の考えたゲームや出店でにぎわいました。特にセンターの部屋を利用したお化け屋敷が大人気でした。

(8月21日、大内地域交流センター)



えびハンター大集結！

今年で20回目を迎えた恒例のえび狩り世界選手権大会(秋穂観光協会主催)が、秋穂東の中道海水浴場を舞台に10カ国18人の外国人をはじめ、県内外から約1,600人が参加して開催されました。

当日は、絶好のえび狩り日和となり、たくさん獲れた方もそうでない方も夏の終わりを満喫され、クルマエビ養殖発祥の地である秋穂地域をアピールできた1日でした。

(8月24日、市広報広聴課)

イベントカレンダー



※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)	内容	開催日 (曜日)	内容
	アートふるリバーナイト ～キャンドル 2010～ (～2日) (大殿) 実行委員会 ☎ 083-920-9220			没後 70 年記念展 「山頭火ー生と死」 (～31日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎ 083-973-7071)
	雪舟「四季山水図」映像展示 「映像の空間 “大殿”」 (～2日) (大殿) 山口情報芸術センター (☎ 083-901-2222)		10 (日)	第 12 回やまぐちエコパーク まつり (大内) 市リサイクルプラザ (☎ 083-927-7122)
	特別企画展 「河上徹太郎と中原中也 ーその詩と真実」 (～3日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)			道の駅「仁保の郷」10周年 パースディ祭 (仁保) 道の駅「仁保の郷」 (☎ 083-929-0480)
	中谷美二子+高谷史郎 「CLOUD FOREST」 (～17日) (白石) 山口情報芸術センター (☎ 083-901-2222)		2 (土)	第 6 回 元気がでるっちゃ フェスタ (～11日) (仁保・小鯖・宮野・徳地・阿東) 事務局 (☎ 083-922-5291)
			5 (火)	おいでませ！山口国体・山口 大会リハーサル大会 第 46 回全国社会人サッカー 選手権大会 (阿知須) 市国体推進局総務企画課 (☎ 083-984-8121)
			6 (水)	第 6 回 元気がでるっちゃ フェスタ (～11日) (仁保・小鯖・宮野・徳地・阿東) 事務局 (☎ 083-922-5291)
			16 (土)	企画展「大内の京」200年 ー山口の栄枯盛衰ー (～11月28日) (白石) 市歴史民俗資料館 (☎ 083-924-7001)
			23 (土)	市男女共同参画センター フェスティバル (白石) 市男女共同参画センター (☎ 083-934-2841)
			30 (土)	平成 22 年度山口市民文化祭 (～31日) (白石) 山口文化協会 (☎ 083-934-2718)

表紙写真から
新市と一緒に大きくなりました
「湯田保育所の園児たち」

表紙の写真は、湯田保育所(宮原大地所長 富田原町)で元気に遊ぶ園児の様子です。平成17年の新市発足時は小さかったこの子たちも、こんなに大きくなりました。

湯田保育所は市内に32園ある保育園のうち、15園ある私立の認可保育所の1つで、市内最大の180人の定員を有する保育園です。「相和の中で、明るく、たくましく、豊かな子どもを育成する」ことを目標とし、すべての子どもに平等な生活の場を提供するため、積極的に障害のある子どもへの保育にも取り組まれています。

市では、子育て支援策としてさまざまな事業を展開しています。(6、7ページ参照)特に、保育サービスにおいては、今年4月から保育料の負担を軽減し、保育園待機児童の解消を目指して年度内に私立保育園2園で計60人の定員を増やすとともに、来年4月の開園にむけた私立保育園の新規整備に取り組むなど、子育て環境の充実に努めています。



運動会ごっこ(園児考案)の様子

■問い合わせ 市子ども家庭課

(☎ 0833-6634・2797)

この広報誌は再生紙を使用しています。使い終わったら、「新聞紙」として古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 10月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-934-2753 / 印刷 株式会社マル二